

1 令和6年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和6年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、829億1,000万円であり、令和5年度の856億1,300万円に比べ、27億300万円、約3.2パーセントの減額となっている。

主な減額の要因としては、新設小学校（おおたかの森地区）建設事業や南流山中学校移転事業が一部工事を除き完了したことにより、教育費が前年度比72億3,370万円の減額となったことによるものである。

また、5月に国の交付金を活用し、令和6年度に新たに住民税非課税世帯となった世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して10万円の給付金と、それらの世帯の18歳以下の児童一人当たり5万円の給付金を支給するための経費などを専決処分し、加えて7月に定額減税額が減税前の課税額を上回ると見込まれる納税義務者に対し、定額減税しきれない額を調整給付金として支給するための経費などを専決処分したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は905億8,512万3千円となっている。

なお、上期における予算現額を前年の9月末現在のものと比較すると、歳入では、人口増に伴う市民税の増及び新築家屋の増加や物流施設の開設による固定資産税の増により、市税は22億558万2千円の増額となっている。一方で、新設小学校（おおたかの森地区）建設事業や南流山中学校移転事業が一部工事を除き完了したことに伴い、市債の発行が23億6,800万円の減額となっている。

また、歳出においては、人口増加に伴う子育て関連経費や扶助費の増加により、民生費が28億7,048万2千円の増額となっている。一方で、上記の大型事業の終了に伴い教育費が89億6,133万4千円減額したことなどにより、前年9月末現在と比べて24億948万円の減額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は（3）収入及び支出の概況のとおりである。